

県議会 6月定例会開会

県民の声代弁のため全力

県議会6月定例会が14日開会しました。

会期は、7月3日までの20日間で、提出案件は26件となっています。そのうち一般会計補正予算は6億9300万円の増額で、概要は、自生山菜の放射能物質検査体制や微小粒子物質（PM2.5）の常時監視体制の強化、海岸漂着物対策、保育士の人材育成確保対策、農協が行う穀類乾燥調整貯蔵施設（カントリーエレベーター）等の設備高度化に対する補助金の追加等となっています。



農民連の県要請であいさつする渡辺県議

今議会では参院選を目前に控えた時期でもあり、この間の調査で聞かせていただいた実態や寄せられた声を代弁し、力を尽くしていきたいと思えます。

6月24日（月）午後一時頃から約60分予算特別委員会の質問に立つ予定です。どうぞ傍聴においでください。

こんにちは

渡辺ゆり子

2013年6月16日 -47号

発行 日本共産党県議会議員 渡辺 ゆり子

<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365



TPP影響 実態にあつた試算を

5月27日、山形県農民連が、県要請を行い同席しました。要請は、TPPの山形県の影響試算にはさくらんぼ等の果樹、花卉等が対象外となっている。より実態に沿った影響試算を行う

参院選、比例、太田としお合同事務所開き



太田としお選挙区候補は、「山形生まれで、山形県内で活動してきた庶民政治家だと自負している」「どこに行っても『ぶれない共産党』に対する評価や期待がある」と述べ、さらに「何としても安倍政権の暴走を止めさせ、賃上げと安定雇用を実現する政治を作りたい」と力強く決意表明しました。

参院選は7月3日公示、7月21日投票日と確定し、各政党の動きが活発化しています。日本共産党山形県委員会は、5月26日に寒河江市と三川町の2カ所で演説会を開催し、6月8日には、事務所開きを行い、私が司会をつとめました。

紙智子参院議員からは、「比例5人全員当選のため、政策を訴えて訴えて訴えぬきたい」とメッセージが届きました。日本共産党は、6日に参院選政策「安倍政権の暴走に立ち向かい『国民が主人公』の新しい政治を 参院選で問われる大争点と日本共産党の改革提言」を発表しました。



感動あふれる母親大会

6月9日に県母親大会に参加しました。午前の分科会は、特別講座「いま憲法が危ない。若い人たちに渡そう世界に誇れる日本国憲法」に参加。講師の鹿野文永元宮城県鹿島台町長（憲法9条を守る首長の会副会長、脱原発をめざす首長の会）の熱意と行動に感動しました。東北各県に足を運び、「会」を広げるため行動し、首長は住民の命や安全を第一に考える仕事であり、原発をなくすことや憲法9条を守ることにつながっている」と熱く語る姿は参加者を励ました。午後の全体会の記念講演と文化行事も憲法9条や基本的人権・生存権につながる内容でした。そして「原発はいらない」「TPP交渉参加反対」「憲法9条と手続き規定の96条改正反対」「橋下大阪市長の『慰安婦』発言の撤回と公職の辞任を求めろ」の特別決議、緊急特別決議を採択しました。県内各地の女性と交流する熱気あふれる大会となり、来賓の吉村美栄子知事のあいさつもおおいに参加者を激励しました。

ゆり子の視点